



## ヒキガエルはどうやって飼うの

### 平地や山間部にすむヒキガエル

日本各地にすむヒキガエルは、5種類ぐらいいます。種類によって、体の大きさも少しちがいますが、体長は、5～17センチメートルくらいあります。北海道から沖縄、宮古島まで、平地や、山間部にすんでいます。昼間は、草むらやかれ葉、石のかけなどでじっとして、夜になると、ミミズ、コオロギ、クモなどをとらえて食べます。

水に入るのは、卵を産むときだけです。卵を産む時期は、ヒキガエルの種類や、すんでいる場所によってちがってきます。東京あたりのヒキガエルは、春先になると、池、水田、流れのよどみなどに、結婚相手を探して、あちこちから集まってきます。何十匹きものカエルのオスとメスが集まって、おしあいへしあいする様子は、「カエル合戦」とよばれます。ここで、いっせいにメスは卵を産みます。卵は、長い「ひも」の中に入っています。ひもの長さは、7～10メートルもあります。

### ヒキガエルの飼い方

ヒキガエルは、カエルの中では、飼いやすい種類です。乾燥に強いので、水そうに砂や土をしき、かくれがになる石や土管を置きます。水は、お皿に入れて置くくらいでだいじょうぶです。

### えさは生きているものを

ヒキガエルは、生きたえさしか食べません。水そうに、カイコの幼虫を入れておくのが簡単です。ミミズ、ダンゴムシ、羽をむした八工など、動くものを食べます。短く切った「うどん」も、カエルの目の前で動かせば食べます。（監修・今泉 忠明）

